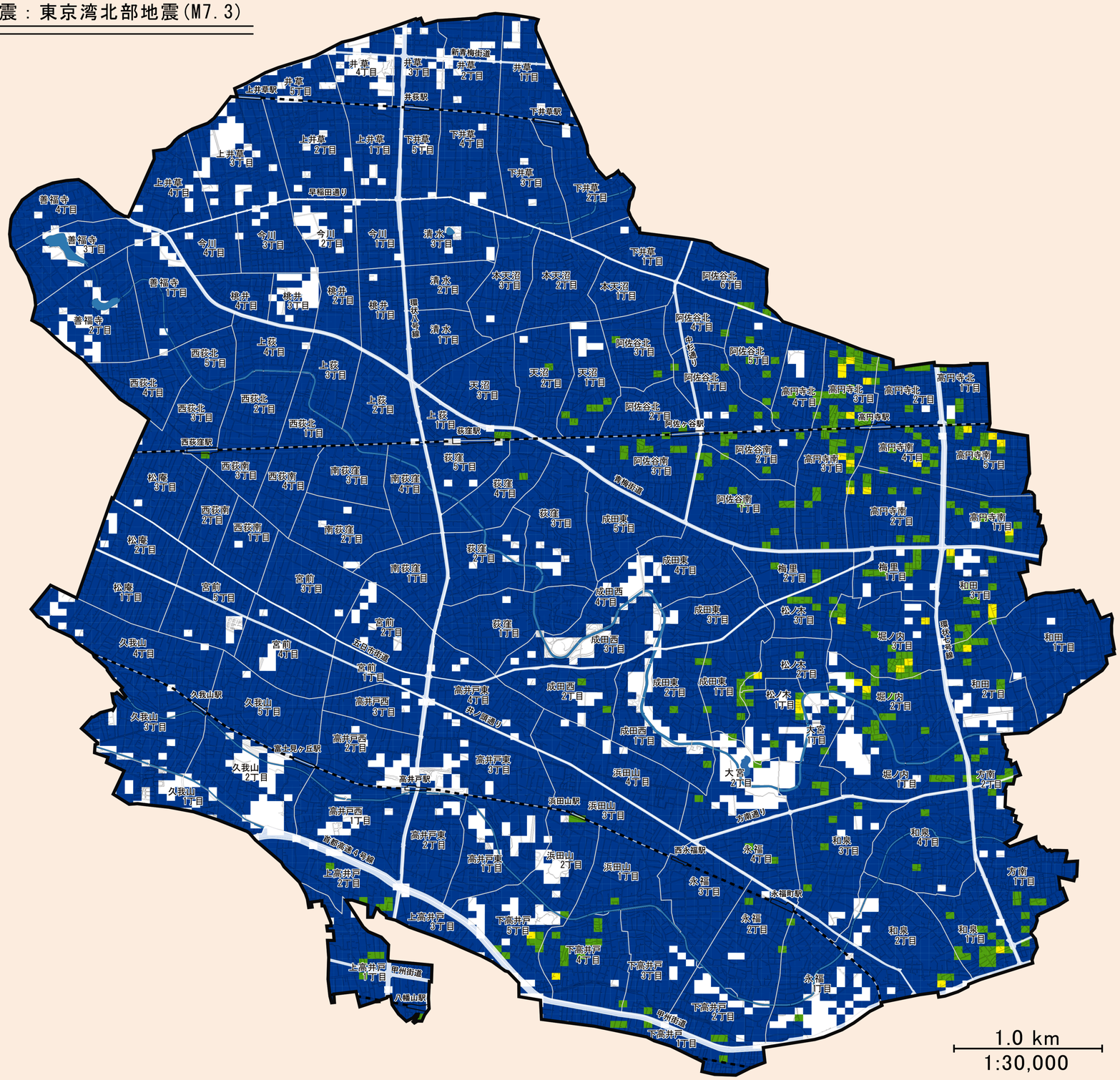
現況(※1)における 全壊予測図

想定地震：東京湾北部地震(M7.3)

地震被害シミュレーションは、地震の規模や震源地、発生時刻や風速など、一定の条件を設定して行った想定の一つです。
実際の首都直下地震の被害は、今回の想定結果と比べて小さい場合もあれば、大きい場合もあります。この結果だけにとらわれず、大規模な地震に備えていくことが大切です。

全壊とは、補修して住み続けることが困難な状態をいいます。



現況被害想定

大きな揺れが発生したら…

区内全建築物のうち、

50 棟に 1 棟 全壊

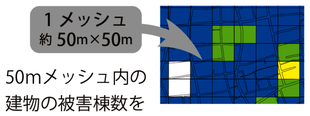
全壊棟数： 2,523 棟

震源地に近い区東部に被害が多く発生することが想定されます。

凡例

50mメッシュ内全壊棟数

- 2-4
- 0-1未満
- 1-2 未満
- 0



50mメッシュ内の建物の被害棟数を表しています。50mメッシュの中には建物が建て込んでいる所や空地が比較的多い所など場所によってまちまちですが、平均すると概ね２０～３０棟の建物があります。また、０～１棟未満というのは、確率として１つのメッシュ内の被害棟数が１棟に満たない状態を表しています。１棟に満たないからといって、被害が生じないということではありませんのでご注意ください。

（※1）現況：平成 27 年度末現在の区内建物状況や道路整備状況を反映。なお、平成 27 年度末現在の区内全建物棟数は 122,904 棟。